

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第16回
奈良県代協

コロナ禍でも
常に有意義な情報発信を

『倭(やまと)は国のまほろば』ではじまる古事記に記されている日本武尊(ヤマトタケルノミコト)が詠んだ歌のとおり、四方を山に囲まれ、不思議と大きな自然災害や人災が少なく、古くからの文化財が数多く残る古都奈良。

奈良は幸いにして感染者数も少なく、状況も落ち着いていることから9月から毎月定例理事会はリアルで再開しております。心配した「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」はなんとが苦勞の末、三作品の応募をいただけてホッと胸をなでおろしております。

新年度の活動は全国の代協が同様の状況かと思いますが、コロナ禍により最初の行事「通常総会」が延期。

真夏の7月や8月に「代理店賠償セミナー」を行います。セミナー後に行う屋外ビアガーデンでの懇親会は会員同士の大事な情報交換の場として定着しております。

秋には、全国統一で行うチラシ入りポケットティッシュの配布。9月に「無保険車追放キャンペーン」。国交省と合同開催で、代協会員と各保険会社の協力の

も800部を駅前で街頭手配り。「地震保険普及キャンペーン」は10月23日に北部と南部に別れ早朝より各500部ずつ駅前での街

頭手配り。こちらも各保険会社の多大な協力を得て実施しております。

社会貢献活動も行っております。平成12年から毎年11月初旬頃に最大のイベント「グリーンキャンペーン 古都なら」を開催。路上に落ちている空き缶やゴミを参加者一人ひとりが拾いながら歩くこのキャンペーンは、最初は明日香路のコースで30名程の参加者で始まりました。

現在は奈良市街に場所を移しJR奈良駅から三条通りを春日大社の鳥居まで歩き、正会員や近畿プロックの代協会員、保険会社の社員が休日にも関わらず午前中は奈良の街をきれいにし、午後は深秋の古都の魅力を満喫しようと親子連れで参加いただくなどして総勢200名近くの一大行事になりました。

新春には、賀詞交歓会と新春セミナーを開催。前年度から「タルプランナー」に認定された会員様への「記念品授与式」も復活しました。本当に自粛は今年度だけにしたいです。

今後の活動としては、全会員にオンラインでセミナーや勉強会等、学びの場を提供できるように体制の構築に努めてまいります。コロナ禍でも有意義な情報発信を常にすることが私共の使命であると考えております。



参加者の皆さん